

科目		電気工学実験実習 (Laboratory Work in Electrical Engineering)		
担当教員		赤松 浩 准教授, 津吉 彰 教授, 道平 雅一 教授, 加藤 真嗣 准教授		
対象学年等		電気工学科・5年・前期・必修・2単位 (学修単位I)		
学習・教育目標		A4-E1(5%) A4-E2(5%) A4-E3(5%) A4-E4(5%) B1(10%) B2(10%) C1(30%) C4(20%) D1(10%)	JABEE基準1(1) (b),(d)1,(d)2-a,(d)2-b,(d)2-d,(e),(f),(g),(h)	
授業の概要と方針		実験は8名程度の小グループで行い, 各テーマ3週, 5テーマで行なう。各テーマは, 第1, 2週に実験を行い, 第3週にレポート提出を行なう。その際, 実験に対する理解度を確認するため口頭試問を行なう。これにより, 簡潔で的確な作業報告が実務レベルで実践できるように訓練を行なう。実験の内容としては, 自ら実験の目的や社会, 技術における位置づけを理解し, 問題解決のための分析力を養わせることを目指す。		
		到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C1】各実験で行った作業, 結果について, 的確に解析し説明することができる。			口頭試問からその理解度を評価する。
2	【C4】各実験テーマの内容が理解でき, 実験を協調して実施できる。			実験中の取り組み姿勢から評価する。
3	【D1】報告書に記した内容について, その意義等を理解し正確に説明できる。			実験テーマがどのような社会的, 環境的な問題を抱いているかを口頭試問からその理解度を評価する。
4	【B1】各実験で行った内容について, 図や表を用いて報告書を作成することができる。			各実験で行った原理や結果などが論理的に記述されているかを報告書の内容, 構成で評価する。
5	【B2】報告書の内容について説明できる。			報告書の内容について説明できるか, また, 他者の説明に対して質問ができるかを口頭試問で評価する。
6	【A4-E1】各テーマにおける基礎原理を理解し, 実験によりそれらを知識・技術として修得できる。			報告書の内容, 口頭試問において評価する。
7	【A4-E2】各テーマにおける基礎原理を理解し, 実験によりそれらを知識・技術として修得できる。			報告書の内容, 口頭試問において評価する。
8	【A4-E3】各テーマにおける基礎原理を理解し, 実験によりそれらを知識・技術として修得できる。			報告書の内容, 口頭試問において評価する。
9	【A4-E4】各テーマにおける基礎原理を理解し, 実験によりそれらを知識・技術として修得できる。			報告書の内容, 口頭試問において評価する。
10				
総合評価		成績は, レポート40% 実験中の取り組み30% 口頭試問30% として評価する。各テーマ20点満点 (取り組み6点, レポート8点, 口頭試問6点) で評価し, 5テーマ合計100点満点で評価し, 60点以上を合格とする。		
テキスト		各テーマ担当作成プリント		
参考書		特に指定しない		
関連科目		電気機器, 送配電工学, 計算機工学, 放電現象		
履修上の注意事項		これまでに修得してきた電気機器, 送配電工学, 計算機工学, 放電現象などをベースに実験テーマが決定されているので, これらの科目に対する復習をしっかりとしておくこと。レポートの提出期限は厳守するものとし, 原則として期限を過ぎたレポートは受理しない。また, 口頭試問を無断で欠席したものは原則としてそのテーマの点数を0点とする。		

